

帯広市立栄小学校 学校便り

さかえ



令和3年9月8日発行

【令和3年度学校経営の重点】

「和顔愛語 笑顔溢れる栄小学校」

～質の高い日常実践を通して～

【キャッチフレーズ（児童）】

「あたり前のことが
あたり前にできる 栄っ子」

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底について

校長 塩田直之

新型コロナウイルス感染症の予防的措置として登校を控えていただいたりするなど、保護者の皆様には多大なるご理解・ご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症については、デルタ株への置き換わりが進む中、全国的に新規感染者数が急速に増加するとともに、児童生徒等の感染者数の増加が懸念されているところです。

これらのことを踏まえ、本校においては、3密の回避やマスクの適切な着用、こまめな手洗いの励行、定期的な換気、飛沫を飛ばさないような席の配置、給食時間における原則として会話を控えることなど、基本的な感染予防対策を再度徹底しているところです。

今後につきましても、ご家庭のご理解・ご協力を賜りながら、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を進めていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

栄小学校の子どもたちの心遣いが素晴らしい！

朝の登校時の様子（左の画像）を見ていると、上の学年の子どもたちが「危ないから一緒に行こう！」と声をかけて1年生と一緒に横断歩道を渡ったり、交差点では「左右を確認するよ！」と声をかけて1年生と一緒に左右を確認をしたりしています。上の学年の子どもたちの心遣いにいつも感動しています。

給食が終了すると、牛乳を梱包してあった厚紙やビニール、コンテナを配膳室に持ってきて、右の画像のようにきれいに置くことになっています。これまでの様子を見ていると、きれいに置くよう厚紙やコンテナの角を揃えてくれる子どもがたくさんいます。この心遣いに大きな魅力を感じています。



百円玉が落ちていました！

先日、帯広市西17条南1丁目の交差点で「百円玉が落ちていました」と言ってくれた人がいました。落とし物を拾ってくれたことに感謝しながら、帯広警察署に行き、栄小学校として落とし物を拾った手続き（右の画像）を行ってきました。落としした方が現れなかったとしても一切の権利を放棄しています。公共のために百円を役立ててほしいと思っています。

ありがとうございます！

地域の方々が定期的に生花を生けてくださっており、子どもたちは生け花の美しさに感動し、生け方に感心しております。

本校の教育活動にお力添えをくださり、ありがとうございます。



あっ！鼻血が出た！自分で手当できるかな？

保健室前に「保健室からのインフォメーション」という掲示コーナーがあります。

そのコーナーでは、右の画像のように鼻血が出たときなどの手当の仕方について、子どもたちが理解を深めることができますようにしています。

休み時間にこの掲示板を見ていた子どもたちからは「鼻血が出たときには、鼻のこの部分を押さえればいいんだね！」と言いながら実際に鼻を押さえる様子が見られました。



夏野菜はどれかな？ やったあ！正解！

職員玄関前廊下に「食育コーナー」があります。

今は「夏野菜を食べよう。夏野菜はどれでしょう？」というテーマの下、右の画像のように7種類の野菜の中から夏野菜を当てるというクイズ形式になっています。

昼休みなどに、このクイズに挑戦する子どもが多く、「えっ？にんじんって、夏野菜ではないの？」などの驚きの声が聞こえてきています。

全問正解の子どももたくさんいて感心しています。

